



No.64

令和4年1月25日発行

おい町

# 議会だより

Ohi Town Assembly Official Report



※撮影時のみマスクを外しています。

関連記事 P4～5、P20

## Contents

新年の挨拶/特集	議長挨拶 / 議会改革 / 輝く人リターンズ	2
臨時会・定例会	条例改正・補正予算などを審議	6
活動報告	委員会所管事務調査 / 組合議会活動	10
一般質問	次期町長選について など 6人登壇	13
追 跡	防犯灯設置について (ちょっと深掘り版)	19

## 議長年頭のご挨拶



おおい町議会議長

松井 榮治

あけましておめでとございます。

皆さまにおかれましては、輝かしい新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。

また、旧年中は議会に対し温かいご理解とご協力を賜り、厚く御礼申し上げますと共に、本年もどうぞよろしくお願ひ申し上げます。

新型コロナウイルス感染症につきましては、昨年も引き続き流行し、秋頃から収束に向かうかのような傾向もみられたものの、国内でも新たな変異株が確認されるなど、まだまだ油断のできる状況ではありません。

暗いニュースが印象に残った昨年でしたが、一方で、延期されていた東京オリンピック・パラリンピックの開会式をはじめ競技のほとんどが無観客ではあったものの、多くの国内選手が輝かしい記録を残して無事に閉幕し、暗い世相の中にあつて、少なからず、人々に勇気と感動を与えることとなりました。

今年、「うみんぴあ大飯」で建設を進

めている創業支援施設「チャレンジショップ棟」と、「商工会館・テナント棟」が完成し、オープンする予定であります。この施設がうみんぴあ大飯内に加わることで、よって、更なる賑わいと活気が生まれ、ひいては町全体の活性化につながるものと期待をしています。私たち議会としても本事業をはじめとした諸事業を推進しつつも、一方では議会としてのチェック機能も働かせながら取り組んでまいりたいと考えております。

また、議会の改革という点において、ペーパーレス会議の導入やオンライン会議の開催を一部可能とするなど、議会のICT化に取り組んできたところです。今後も、更なる議会活動の活性化のために、年間を通した委員会活動をはじめ、さまざまな面において改革に取り組む、従来の、行政のチェック機能としての議会であるばかりではなく、積極的に政策を提言できるような、広く町民の皆さまの付託に応えられるよう、より一層信頼される議会となるよう、誠心誠意取り組んでまいります。

結びに、本年が町民の皆さまにとりまして、実り多く幸多き一年となりますことを、心からご祈念申し上げます。新年のご挨拶といたします。

## 議員定数

\*今後の人口減少、議員の多様性による住民意見の反映、討議ができる人数、議会力の充実などを踏まえ、次期改選にむけて適正な議員定数を検討します。

\*現在のおおい町議会議員の定数は14名で、美浜町、若狭町、高浜町と同数です。

## 議員報酬

\*現在、議員報酬算定に当たり、議員の活動時間に応じて首長の給与から報酬を割り出す原価方式で基礎数値の算定作業を行っています。

\*現在のおおい町議会議員の報酬は23万5千円で、美浜町、若狭町、高浜町と同額です。

《議会報告会、懇談会などで町民の皆さんから意見をお聞きしながら検討を進めます》

# 議会改革の取り組み

議会だより第62号で議会活性化、議員定数、議員報酬の検討について検討状況をお知らせしたところですが、先般の議会全員協議会で方向性や、具体的な取り組みについて決定しました。

## 通年議会

現在おおい町議会では、「おおい町議会定例会条例」で、定例会を年に4回と定めていますが、議会が活動できる機関である会期を通年(1年)として閉会期間をなくし、必要に応じて本会議や委員会を開催できる制度である「通年議会」を令和4年度中に実施します。

### イメージ図による議会活動の比較

#### ◆現行

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
本会議	閉会	臨時会 閉会	会期 6月定例会	閉会		会期 9月定例会	閉会		会期 12月定例会	閉会		会期 3月定例会
委員会			付託議案 審査			付託議案 審査			付託議案 審査			付託議案 審査
閉会中の継続審査(1年間)												



#### ◆通年議会

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
本会議	・年間を通して会期中となり、議会の判断で、定例会議・臨時会議を開催し、議会審査を行う。											
委員会	・年間を通して委員会活動が可能となる。											

### 通年議会によるメリット、デメリット(主なもの)

#### ○メリット

- 1) 議長権限により本会議を招集できる
- 2) 委員会の活性化がはかれる
- 3) 町の専決処分の減少
- 4) 災害時などの突発的な案件に対応できる
- 5) 議案などの提出を行える時期の制限撤廃 (契約案件などの早期議決が可能)

#### ○デメリット

- 1) 執行部を拘束する時間が増加する
- 2) 災害時の突発的な案件について、執行部が議会対応に時間を要する恐れ

デメリットについては、理事者との協議により、要項などを定めることで、円滑な議会運営が図れることから、今後その内容について協議を進めます。

# （ワイワイ） 座談会

僚の方と、広報特別委員会のメンバーで、議員

レストランと食に関するお仕事のかたがたに  
の思いは…。



年頭あいさつ

特集

審議内容

活動報告

一般質問

追跡

## ■議会だよりは読んでいますか

- ・隅から隅まで読んでいる。
- ・読んではいるが、予算や議案のところはあまり読まない。
- ・輝く人に出たことで興味がでた。
- ・移住して1年半。今日初めて読んだ。
- ・移住して11年。一度も読んでいない。

※興味を持ってもらえる、読んでもらえる紙面づくりに広報委員一同取り組んでいきます



あらき みほ  
荒木 美帆 さん

## ■U・Iターンのきっかけは

- ・地元でできた新しい事業に取り組むためにUターンした。
- ・釣りが好きで大島に釣りに来ていた。漁連の紹介で漁師になった。
- ・朝早く仕事をしていても迷惑にならない物件があったので移ってきた。



やまもと やすし  
山本 泰 さん

## ■おおい町に住んでみて

- ・おおい町は良いところと言われる。
- ・おおい町ってどんなところ？と聞かれるが、何にもないところと答える。
- ・14年ぶりに帰ってきたが、うみんぴあエリアなど発展したなあと思う。
- ・おおい町の道の駅はもっと活性化できるはず。



にしはた りょうじ  
西畑 僚二 さん

# 出前懇談会

# 輝く人

年頭あいさつ

特集

審議内容

活動報告

一般質問

追跡



議会だよりの「輝く人」に登場された方や同出前懇談会を開催しました。海や川での漁業、農業、ごはん加工の事業者、お集まりいただきました。業種の違う皆さん



いしづか もとゆき  
石塚 資之 さん



あらかし としひこ  
荒木 敏彦 さん



さいとう ちふみ  
齊藤 智文 さん

## ■今後のおおい町に期待すること

- ・農業、漁業もすべては山から。山のことをもって考えてほしい。
- ・海にふれられる施設や自然を活かす施設を考えるべき。
- ・何をするにしても田舎の強みを活かしてほしい。
- ・発展するにしても自然を大切に。
- ・開発と自然を残すバランスが大事。

## ■今思っていること

- ・漁業者と議会の接点はほとんどない。情報が欲しい。
- ・海が近いので、魚をランチで食べたいと言われるが、紹介するところがほとんどない。
- ・おおい町はお米がおいしい。
- ・南川のアユを町のブランドに。
- ・一人暮らし用の住宅がほとんどない。
- ・アパートが高い。
- ・おおい町には、来町者にとって目的となる場所がない。

# 令和3年 第9回(12月) 定例会 議案審議結果

議案番号	件名	審議・付託	議決結果	参照先
承認 4	専決処分の承認を求めることについて（令和3年度一般会計補正予算（第3号））	〈全協〉	承認	P6
議案 56	町税条例の一部改正について	〈総務〉	原案可決	P7
議案 57	家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正について		原案可決	
議案 58	特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部改正について		原案可決	
議案 59	国民健康保険条例の一部改正について		原案可決	
議案 60	令和3年度一般会計補正予算（第4号）	〈予算〉	原案可決	P7～8
議案 61	工事請負変更契約の締結について（複合商業施設周辺整備工事）	〈産建〉	原案可決	P8
議案 62	農地等高度利用促進事業実施計画について		原案可決	P8～9
議案 63	指定管理者の指定について（おおい町あきない館）		原案可決	
議案 64	令和3年度一般会計補正予算（第5号）	〈全協〉	原案可決	P9
発委 6	コロナ禍による厳しい財政状況に対処し地方税財源の充実を求める意見書について	〈総務〉	原案可決	
—	委員会の閉会中の継続調査		閉会中の継続調査	

※略称 〈全協〉 議員全員協議会、〈総務〉 総務常任委員会、〈産建〉 産業建設常任委員会、〈予算〉 予算決算常任委員会  
 〈原特〉 原子力発電対策特別委員会、〈振興〉 地域振興対策特別委員会

※今定例会では賛否が分かれた議案はありませんでした。

## 第9回定例会

### 専決処分の承認や補正予算などを可決

#### ■審議内容

定例会に付議された、承認1件、議案8件、発委1件を審査した。

#### ■専決処分の承認

#### 補正予算

#### ●承認4号〈全協〉

令和3年度おおい町一般会計補正予算（第3号）

11月9日に、国において閣議決定された経済対策による、子育て世帯への支援策（18歳以下の対象児童1人あたり5万円の給付）に必要な緊急的な経費。

7356万7千円増額

#### ■主な質疑

**問** 国は各自治体に子育て世帯への支援策の10万円のうち5万円について、クーポン券の支給ではなく現金給付で

も良いとしているが、今後の町の対応は。

**答** 詳細な情報や国としての方針が決定されていないので、今後の動向を注視しながら検討していく。

**問** 給付金給付にかかる事業費について、どのように試算しているのか。

**答** 基本的には、給付金に関する経費は全て国から補助金として交付されるが、補正編成時点では詳細なことが示されていないので、本町で必要となる事務経費は全て計上している。

【全会一致・可決】

議案審議

条例改正

●議案56号〈総務〉

おおい町町税条例の一部改正について

地方税法などの一部を改正する法律の施行に伴い、条例の一部を改正するもの。

【主な改正内容】

個人町民税における均等割、所得割の非課税限度額について、基準判定に用いる扶養親族の範囲が見直されたことや、医療費控除の特例について、適用期限を5年延長するもの。

【主な質疑】

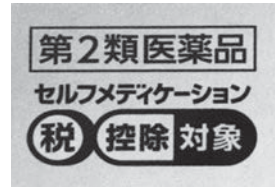
医療費控除の特例について新たに

セルフメディケーション税制の対象になる医薬品はどのようなものか。

答

品目は多岐にわたるが、控除対象となる医薬品のパッケージ

とレシートに対象である旨の表示がされる。



※セルフメディケーション税制  
健康診断など受けている人が、一部の市販薬を購入した際に所得控除を受けられるもの。

【全会一致・可決】

●議案57号〈総務〉

おおい町家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正について

家庭的保育事業者など

の業務負担軽減を図るため、記録の作成や保存などについて、電磁的方法による対応を可能とするもの。

【全会一致・可決】

●議案58号〈総務〉

おおい町特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部改正について

保育所や子ども・子育て支援を行う業者の業務負担軽減や、保育所など利用者の利便性向上を図るため、電磁的方法による対応を可能とするもの。

【主な質疑】

機器の購入などには必要か。

答

町が新たに対応することははない。

【全会一致・可決】



●議案59号〈総務〉

おおい町国民健康保険条例の一部改正について

健康保険法施行令等の一部改正に伴い、条例の一部を改正するもの。

【主な改正内容】

産科医療保障制度の掛金の見直しによる出産育児一時金の加算額引き下げに対して、支給総額を現行のまま42万円に維持するもの。

【主な質疑】

産科医療保障制度の掛け金が下がる

ことにより医療機関から患者に請求される医療費や分娩費は変わるのか。

答

医療費や分娩にかかる費用に変更はない。

【全会一致・可決】

補正予算

●議案60号〈予算〉

令和3年度おおい町一般会計補正予算(第4号) 4899万9千円減額

【主な歳出内容】

- 議会運営事業 154万4千円減額
- 保健福祉センター「なごみ」管理運営事業 460万9千円増額
- 観光振興対策事業 674万円減額
- 排水路管理事業 200万円増額
- チャレンジショップ整備事業 4000万円減額
- 文化活動推進事業 401万円減額

【主な質疑】

チャレンジショップが魅力向上整備事業が皆減となった理由は、インパクトの強い

答

建物を活用した魅力向上整備を進めていた

が、建物の竣工が令和4年3月22日となり、工事履行期間が取れないため、来年度に事業費計上を行う。

問

来年度に予算を持ち直すことで、財源としていた県の補助金に変更はないか。

答

県と協議を行い、本年度と同じ4,000万円の事業費に対する補助額で調整している。

問

排水路管理事業で破損した排水ポンプを取り換えると説明を受けたが、5年前後で取り換える事態となった理由は。

答

塩害でポンププロペラが弱くなったというところもあるが、その他の要因として、小さな木材やゴミが設置した籠を通して、プロペラに引っ掛かり欠損を招く事態となっている。現在、

年頭あいさつ

特集

審議内容

活動報告

一般質問

追跡

ゴミが流入しないよう、解決に向けて対策を検討している。



破損したプロペラ

**問** 今年の大福な米価下落が影響し、収入保険に新規に加入する農業者は、基礎となる所得金額が低くなるが、町はどのように考えているのか。

**答** 今年度の下落は若干の影響は出てくると考えるが、自然災害ではない経済情勢による価格低下にも適用される保険は収入保険のみであるため、加入促進に努めたい。

**問** 農業者労働災害共済事業では、被災者が70歳以上だと支給が50%となるが年齢に応じて支給額を段階的に減らすなどの対応が必要ではないか。

**答** 課題として認識しているため、しかるべき場において指摘などを行っていきたい。

**問** 企業振興対策事業で増額された電柱移転補償費は適正か。

**答** 金額については、物価本や県の労務単価などにより、妥当性は確認している。

### 工事請負契約

#### ●議案61号〈産建〉

工事請負変契約の締結について（複合商業施設周辺整備工事）

チャレンジショップ棟整備と同一事業者による

工事となったことから、共通する経費の調整を行うことと、利用者の利便性向上のため、外構部分の設計を一部見直し、変更するもの。

・変更契約金額  
96万1千円減額

・変更後契約金額  
2億1188万9千円  
・契約の相手方  
株式会社荒木

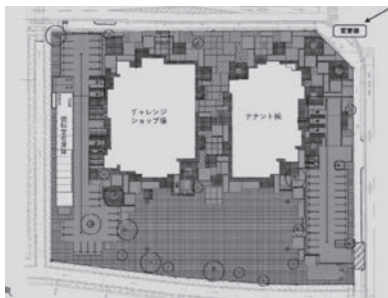
**主な質疑**  
ウッドデッキを廃止しPC板やコンクリートに変更した理由は。

**答** 仕上げの統一感や、車椅子での通行に適している点も含め、PC板やコンクリートを多用した。

**問** PC板は段差ができやすいため、車椅子の通行に配慮した施工が必要である。

**答** 施工上の注意点として、段差がで

ないよう十分に注意し、事業者と工事を進めていきたい。



【全会一致・可決】

### 事業実施計画

#### ●議案62号〈産建〉

農地等高度利用促進事業実施計画について

名田庄口坂本地区において、農業用の用水路・排水路を改修し、水の安定供給や排水能力を改善し、農地の区画拡大や生産性の向上を図るもの。

**主な質疑**

**問** この地区では用水路を一部改修していると思うが、今回の事業では重複していないか。

**答** 前回と違う用水路系の用水路を改修する計画であり、重複した箇所はない。

**問** この事業を契機に、他の地域でも再整備の計画等は考えているのか。

**答** この事業は当該地域の皆さんが長年取り組んできたことが具現化されたものであり、

他の地域で同じように進めていくものではないが、中山間地の農業の付加価値を高め、持続可能となる農業のあり方について町としても考えていきたい。

**問** 総事業費に対する測量試験の割合が高いと感じるが、金額は適正なのか。

**答** 計画概要書作成は福井県土地改良連合会に委託しており、概算工事費には換地計画や換地処分にかかる費用も入るため、一般的な工事よりも割高になっている。

**問** この事業により県単工事で行う用水路改修でおい町が持っている予算枠に影響は出ないか。

**答** 今回の事業は、国庫補助金が55%見込め、県の負担分2割を合わせると75%の補助金を当てることができるた



め、県単独の事業とは異なり、大きな影響は出ないと考えらる。

【全会一致・可決】

### 指定管理者

#### ●議案63号〈産建〉

指定管理者の指定について（おおい町あきない館）  
株式会社名田庄商会

#### 主な質疑

**問** 採点表について、経営能力の中で、

資力、信用度に関する項目はあるが、適正だと判断する基準というのはどのようなものか。

**答** それぞれの項目で何点以上という明確な基準は設けておらず、審議会において、それぞれを総合的に審査して最終的に適正であるかどうかを判断している。

**問** 評価の採点表が昨年から変わっているが、その理由は。

**答** 以前より審議会の委員や、議会等から採点について分かりにくいと指摘されていたため、今回、採点表の見直しを行った。

**問** 審議会からの意見書には、3階その他についても適正に管理を行うていただきたいというところが入っているが、これについての対応は。

**答** あきない館としての使用は1階、2階に限られるが建物全体が指定管理の区域なので、使用していない箇所でも、日常の清掃等について、特に留意してほしいということ、指定管理者には伝えたい。

【全会一致・可決】



### 補正予算

#### ●議案64号〈全協〉

令和3年度おおい町一般会計補正予算（第5号）  
1億4510万8千円増額

#### 【主な歳出内容】

○灯油助成臨時対策事業  
407万2千円増額

○住民税非課税世帯臨時特別給付金給付事業  
7340万8千円増額

○子育て世帯臨時特別給付金給付事業  
6450万円増額

#### 主な質疑

**問** 住民税非課税世帯臨時特別給付金の支給対象者が、課税者に扶養されていないことの把握方法は。

**答** 対象者からは扶養状況の確認書を提出してもらい確認を行う。

**問** 子育て世帯への臨時特別給付金について、所得により対象外となる世帯へも給付する考えはないか。

**答** 検討を行った結果、本町では、所得制限対象世帯には給付を行わないこととした。

【全会一致・可決】

### 意見書

#### ●発委6号〈総務〉

コロナ禍による厳しい財政状況に対処し地方税財源の充実を求める意見書について

感染拡大は、変異株の猛威も加わり、甚大な経済的・社会的影響を及ぼしており、地方財政は来年度においても巨額の財源不足が避けられない厳しい状況に直面している。

地域の実情に応じた行政サービスを安定的かつ持続的に提供していくために、地方交付税等の一般財源総額の確保・充実を求め、政府に意見書を提出するもの。

**問** 子育て世帯への臨時特別給付金について、所得により対象外となる世帯へも給付する考えはないか。

**答** 検討を行った結果、本町では、所得制限対象世帯には給付を行わないこととした。

【全会一致・可決】

**意見書の内容は次のとおり**  
1 令和4年度以降3年間の地方一般財源については、社会保障経費が増大している現状を踏まえ、十分な総額を確保すること。

2 固定資産税の制度の根幹に影響する見直しは行わないこと。  
3 令和3年度税制改正により講じられた土地にかかる固定資産税の負担調整措置については令和3年度限りとする。同様に自動車税・軽自動車税の環境性能割の臨時的軽減の延長について、状況に応じ判断すること。

感染症緊急経済対策として講じられた固定資産税に係る特別措置は、期限の到来を持って確実に終了すること。

令和3年度税制改正により講じられた土地にかかる固定資産税の負担調整措置については令和3年度限りとする。

同様に自動車税・軽自動車税の環境性能割の臨時的軽減の延長について、状況に応じ判断すること。

また、炭素に係る税を創設または拡充する場合などは、その一部を地方に税源配分すること。

## 防災道の駅とスケートパークを視察

総務常任委員会・地域振興対策特別委員会合同視察

期 日 令和3年11月17日(水)

場 所 防災道の駅

越前おおの荒島の郷

ふくい健康の森

スケートパーク

「参加者」 委員10名

委員外2名

総務常任委員会と地域振興対策特別委員会では、昨年4月にオープンし、6月に国土交通省から「防災道の駅」に選定された「道の駅 越前おおの荒島の郷」と、福井市の「ふくい健康の森 スケートパーク」の視察を行いました。

### 道の駅 越前おおの荒島の郷

オープン以来、半年で50万人の集客となった道の駅で、道の駅機能、防災機能、アウトドアショップやカフェ等の店舗を併せ持つ施設となっています。

うみんぴあ大飯で建設中のシーパークにも、アウトドアショップ、カフェが入店し、ま

た、災害時にはエリア滞在者の指定緊急時避難施設となる予定であることから、類似する施設として、防災機能を中心に視察を行いました。

### ※防災道の駅とは…

都道府県の地域防災計画で、広域的な防災拠点に位置付けられている道の駅を、国土交通省が「防災道の駅」として選定し重点的な支援を行います。

選定の要件としては、①広域的な防災計画に防災拠点としての位置付けがある ②災害時に業務が可能な施設や体制が整っている（支援活動に必要なスペースがある） ③業務継続計画が策定されている 等があり、全国で39の防災道の駅が選定されました。

荒島の郷では、

- ・自家発電設備 ・貯水タンク
- ・通信設備 ・ヘリポート
- ・緊急車両用駐車場4000㎡
- ・施設の耐震化 ・防災トイレ
- ・防災倉庫等が整備されています。



マンホールを利用した仮設トイレ



支援物資を仕分けするための大型の屋根付きスペースは、平常時は道の駅のイベント等にも活用できます。

### ふくい健康の森スケートパーク

県営のふくい健康の森スケートパークは、2019年にオープンし3年目を迎えます。初年度は7200名の利用がありました。コロナ禍で施設の閉鎖期間もあり、昨年度は3100名の利用となっています。利用者の内訳は、県外者51%、県内者49%、大人50%、中学生以下30%、高校生大学生20%とのこと。

うみんぴあ大飯の成海緑地でも県の工事でスケートパーク等の建設が進んでいます。

誰もが安全に利用できる施設となるように、議会でもスケートパークについての勉強会を行っていきます。



## グランピング施設を視察

産業建設常任委員会

【期 日】 令和3年10月8日(金)

【場 所】 グランドーム滋賀高島

【参加者】 委員7名及び議長、

委員外2名

町が現在調査をしているグランピングはどのようなものか、滋賀県高島市の民間事業者「グランドーム滋賀高島」を視察研修しました。

施設の主な内容は、テント生地で出来たドーム型の大型テントの室内は、ベッドスペースと居住スペースがワンルームとなっていて、エアコンも装備されています。センスが良く魅力を感じました。

また、テントの外にはバーベキューコンロの装置がセットされており、持ち込みの食材で調理ができ、たき火も楽しむことができます。

この個別の1区画を、ネットで予約して貸出す形態で、稼働率は90%以上とのことでしたので、グランピング人気を肌で感じました。

コロナ禍においても、感染リスクが最小限に抑えられること

から、今後もグランピングの人気は続くと考えられます。

このようなグランピング施設を、町内に整備できれば、町内外にインパクトのある発信ができると感じました。



所管事務調査の様子

## 公立小浜病院組合 令和2年度決算認定

令和3年度第3回公立小浜病院組合議会において令和2年度病院事業会計決算を認定しました。

【期 日】 令和3年10月18日

【組合議員】 藤原義隆・堤満也

小浜病院事業

新型コロナウイルス感染症の影響で、患者数が減少し、医業収益は減額したが、新型コロナウイルス感染症対応補助金による医業外収益の増額、費用の継続した削減、減価償却費減額などにより、経営収支については前年度より改善して黒字となった。

決算額 収入 88億5千7百万円  
支出 80億1千7百万円

介護老人保健施設事業

新型コロナウイルス感染症の影響による利用者数の減少、また、事業費用の増額と相まって赤字額が増加した。

決算額 収入 5億9千7百万円  
支出 6億6千4百万円

レイクヒルズ美方病院

新型コロナウイルス感染症拡大防止に伴い一時的に患者数を制限したことで患者数が減少、医業

収益が減少したが、医業外収益で若狭町、美浜町の繰入金が増加した。また、費用については材料費の薬品費の減少、委託費の減少で黒字となった。

決算額 収入 11億1千4百万円  
支出 10億6千3百万円

監査委員意見

地域医療を支える役割、在宅復帰施設としての役割を果たし、関係機関との連携で経営改善に努めること。



令和2年度導入 I-VR装置とは、血管の撮影を行いながら同時にカテーテル治療を行うことができる装置で、主に急性期の脳血管内治療等に使用する。

経営改善

小浜病院は、現在経営改善に取り組んでいるところですが、短期的な増収対策として新規施設基準の届け出などによる診療単価の増加策に取り組んでいます。また、中長期においては、地域連携、広域強化による患者数増加、患者要望に応じた在院日数の調整による延べ患者数の増加策などを検討しています。

年頭あいさつ

特集

審議内容

活動報告

一般質問

追跡

# 若狭消防組合議会 令和2年度決算審査・認定

## 令和2年度若狭消防組合 一般会計歳入歳出決算審査

期 日 令和3年8月26日

〔監査委員〕 屋敷浩道

一般会計歳入歳出決算書、同事項別明細書、実質収支に関する調書および財産に関する調書ならびに、若狭消防施設整備基金の管理状況について、関係帳簿および証拠書類との照合検査を行うとともに、関係職員から説明を聴取し、決算額が正確か、予算執行状況および財産運営状況が良好かなどを主眼として審査を行いました。

同日、令和2年度の備品購入費7件のうち2件（名田庄分署・高規格救急自動車、おい消防団・消防ポンプ自動車）、工事請負費3件のうち1件（若狭消防本部・特殊車両格納倉庫）について、備品配置および管理状況を現地に赴き検査を実施しました。

監査委員により各般にわたり審査を行った結果、問題ないことを確認しました。

名田庄分署に納入された  
高規格救急自動車



自動心肺蘇生機



ポンプ車CD-1型

おい消防団・  
消防ポンプ自動車



若狭消防本部・特殊車両格納倉庫



水陸両用バギー



若狭消防本部には、総務省消防庁より、無償使用で貸与された福井県で一台しかない「津波・大規模風水害対策車」（右下写真）と対策車に搭載可能な「水陸両用バギー」が特殊車両格納倉庫に保管されています。バギーは小型船外機を取り付けることにより、小型ボートとしても使用できますが、船外機をつけなくても、特殊なタイヤの溝の構造により、水面を進むことができます。消防隊員は有事に備え、操作方法および鍛錬を積み重ねています。

### 第198回若狭消防組合議会定例会

期 日 令和3年10月8日

〔組合議員〕 田中秀樹・屋敷浩道

第198回定例会において、認定

第1号 令和2年度若狭消防組合一般会計歳入歳出決算認定を全会一致にて認定いたしました。

若狭消防組合は、おい町をはじめ、小浜市、高浜町、若狭町（旧上中地区）の1市3町により運営され、各市町が分担金を出し合って成り立っています。令和2年度の各市町の分担金は、人口比率や分署の配置数によって算出され、おい町の分担金額は、2億8451万4千円でした。（小浜市5億7278万円、若狭町1億8494万円、高浜町2億5002万円）

令和2年度決算では、新型コロナウイルス感染症の影響もあり、歳入歳出ともに前年度を下回りました。また消防職員の若年層化により、災害対応の経験が少ない若手職員への教育が急務となっており、訓練、研修など更なる研鑽が必要です。車両や機械器具の整備や手入れは行き届いており、消防職員の普段の努力がおいに評価できました。今後も「地域住民の生命・身体・財産を守る」という消防の使命をしっかり和果たしただきたいと考えます。

12月定例会では、6人の議員が一般質問を行いました。

次期おおい町長選への意向は

町長 来年3月のおおい町長選挙に出馬する決意をした



おだに かずえ 尾谷 和枝

町長2期の町政運営において具現化

できたものは。

町長 子育て応援日本一を

掲げ、町政に精進してきたが、大飯発電所の地元理解活動や、再稼働をはじめ原子力防災に係る放射線防護施設整備、浸水防止施設整備や防波堤整備、佐分利川の浚渫事業、砂防事業や急傾斜地崩壊対策事業、医療費の各種助成、子育て支援策の拡充、デマンドバスの運行、

産業団地の造成、うみん

びあ大飯に大型店舗の誘

致、シーシーパーク事業、

新型コロナウイルス対策、

町民応援給付金、医療福

祉応援給付金や早期のワ

クチン接種など、感染防

止と様々な影響から町民

を守る取り組みを行った。

次期町長選への意向は。

町長 まずは、コ

ロナ禍から町民の

命と暮らしを守ることを

最優先に考えている。原

子力発電が地球温暖化防

止にも貢献できることを

チャンスと捉え新たな町

の持続的な発展の可能性

を拓く思いで、来年3月

のおおい町長選挙に出馬

させていただく決意であ

る。

子育て政策が充実

する一方で、若者

の流出をどう考えるか。

町長 町の未来

創生戦略の転出の

抑止や、転入の取り組み

策として、職場の確保は

非常に大切である。今

後、さまざまな教育機関

との連携やエネルギーを

含めた教育機関の誘致な

ど検討をしなければなら

ない。

エネルギーの町と

しての今後をどの

ように描いているか。

町長 カーボン

ニュートラルに貢

献をする原子力発電につ

いて、将来の新たな技術

をいかに導入していくか

を見据えて取り組んでい

かなければならない。

町長 原子力防災、地震

の予測など、あら

ゆる防災多重化の観点か

ら、日本海国土軸の必要

性を働きかけていくべき

と考えるが見解は。

町長 国土の均

衡ある発展や、効

率化、付加価値という

面からは、取り残されて

いる感があるが、日本海

国土軸の必要性は危機管

理も含めて重要となるた

め引き続きしっかりと取

り組んでいく。

町長 役場職員の人材育

成への取り組みは。

町長 就任以来

取り組んできた難

しい部分ではあるが、達

成感を持って職務に当た

れるような職員をしま

りと育てていく。

レジャースポーツの安全対策

町長 マリンスポーツに

おける事故の防止

や安全対策の状況は。

町長 大島漁協が漁船の

航行区域などを踏まえ、

安全であると判断し、特

定した場所を限定し、マ

リンスポーツ事業者が実

施しているため、信頼関

係に基づくルールとして

事故の未然防止につな

がっている。今後は、実

施状況の把握に務め、海

上保安庁など関係機関と

連携を図りながら必要な

対策を講じていく。

町長 新設されるスケー

トパークの安全管

理や運営計画は。

町長 県のスケートボー

ド協会や地元愛好家の意

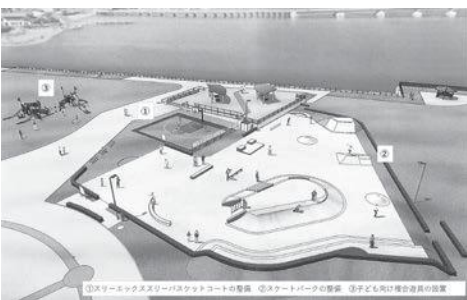
見、県の運営方法を参考

に、今後利用ルールを定

める。基本的には利用者の自己責任と考えているが、小さい子供の安全対策なども考えた管理運営を行うよう県と十分協議していく。



サップ教室



スケートパーク完成イメージ図

年頭あいさつ

特集

審議内容

活動報告

一般質問

追跡

# 県の一方的な補助金減額は遺憾である

**町長** 早急に県の補正予算での追加措置を要求し、森林資源の循環及び保全に対する要望を行った



ほそかわ まさひろ  
細川 正博

**答** (町長) 早急に嶺南振興局長並びに農林水産部長に対し、県の補正予算での追加措置を要求したが、難しいとの回答があったため、国の制度を活用することも視野に入れた検討を申し入れた。また、知事にも森林資源の循環及び保全に対する財源措置の要望を出した。

**問** 「花粉発生源対策促進事業」の目的は。

**答** (農林水産課長) 花粉症に対処するための原因研究や予防、治療および発生源対策の総合的な取り組みである。その中には、花粉症の主な原因とされるスギやヒノキ林を、花粉の少ない森林へ転換していく取り組みへの支援がある。

**問** 染ヶ谷団地で計画された町行分収造林事業の予算が減額となり、事業縮小となった理由は。

**答** (町長) 「未来へつなぐ森づくり事業補助金」を充当し、事業を計画していたが、県からの補助金内示が大幅な減額となったため、事業を縮小した。

**問** 県と協議をした上で計上していた予算が、一方的に減額されたことは大変遺憾である。町の対応は。

**答** (農林水産課長) 来年度以降、県の「未来へつなぐ森づくり事業補助金」は、市町が主体となる事業は対象外とする事前案内が来てい

ないため、「花粉発生源対策促進事業」の趣旨に則り、補助金を活用できるが、町内の町行分収造林地すべてに活用できるとは考えていない。

**問** 来年度以降の計画は。

**答** (農林水産課長) 本年度は2haの皆伐を行った。来年度は2.5haの皆伐と、本年度皆伐した箇所を合わせた4.5haの再造林を計画しており、樹種はコナラを予定している。

**問** 山林本来の多面的機能が発揮できるよう、時間がかかることも整備促進に向けて取り組み必要があるが。

**答** (町長) 地球規模の気象災害を防ぐためにも、カーボンニュートラルを考える中で、森林の多面的機能を発揮することは重要である。町としても全国の先

進事例などを学びながら、木材の有効活用や森林環境税のあり方など、関係機関へ協議や要請を行っている。行っていきたい。

## 北陸新幹線の全線開通

**問** 北陸新幹線敦賀開業は、計画通りに24年春となるのか。

**答** (まちづくり課長) 直近の工事進捗状況は、10月1日時点で、発注率がトンネル・高架橋など共に100%。完成率もトンネルは100%、高架橋などは99%となっており、順調に進捗している。

**問** 敦賀以西延伸について環境アセスを実施しているが、進捗は。

**答** (町長) 沿線自治体などから課題解決に向けた前向きな行動は必要と考えるため、町としてもしっかりと取り組みたい。また、北陸新幹線建設促進期成同盟会の会長に杉本知事が就任したため、福井県としての対応に協力していき

たい。

**答** (まちづくり課長) 町内に於いての現地調査は、関係者の協力により順調に進んでおり、本年度中には終了する見込みとなっている。しかし、他の地域で調査が順調に進んでいないと聞いているため、状況を注視していきたい。

**問** 早期着工を目指す上で、膨大な残土の処分先や搬出方法の課題がある。官民挙げての活動が必要である。

**答** (町長) 沿線自治体などから課題解決に向けた前向きな行動は必要と考えるため、町としてもしっかりと取り組みたい。また、北陸新幹線建設促進期成同盟会の会長に杉本知事が就任したため、福井県としての対応に協力していき

たい。

たい。

たい。

たい。

たい。

# 介護休業給付金を補完する制度が必要

**町長** 現行制度で補えない部分を支援できないか検討する



たなか ひでし  
田中 秀樹

**問** 雇用保険の介護休業給付金は67%の給料が保証される制度だが、給付金を受け取れるのは休業期間が終了してからとなり、その間に生活費が不足する家庭へ町が生活費を貸付し生活を安定させる制度を制定する考えはないか。

**答** (町長) 給付金は休業終了後となるので、現行制度で補えない部分を支援できないか検討する。

**問** 介護休業給付金制度だけでは、仕事と介護の両立は難しいと思う。介護の期間は平均で約5年とされており、この休業期間を有効に利用し、プロの方の力を借りながら介護体制を構築し、職場復帰することが生活を安定させる方法だと考えるが。

**答** (町長) 国に対して、どう要望をかけて改善をしていくかという部分と、町の制度をどう活用していただくか、それでも補えない部分をどう支援していけるか、今後しっかりと検討する。

## 【介護休業給付金の支給条件】

身内の介護のために仕事を休んだ場合、賃金のおよそ67%をもらうことができる制度

雇用保険に加入している 	2週間以上の休業を必要とする 	職場に復帰する前提 
-----------------	--------------------	---------------

コロナ禍等による生活困窮者への支援

**問** 県の生活困窮者自立支援制度について町では対象者への周知をどのように行っているのか。

県の生活困窮者自立支援制度について町では対象者への周知をどのように行っているのか。

**答** (住民窓口課長) 町の支援をはじめ、国の支援の制度を、町の広報誌やホームページを活用し、周知している。

**問** 子育て世帯臨時特別給付金の支給について国は、現金一括給付容認へ転換する方針を示したが、町の対応は。

**答** (町長) クーポンは時間がかかり有効でないので、今定例会中に追加の補正予算を提案し、10万円の現金一括給付を目指したい。

コロナ感染症の第6波への備えは

**問** 海外ではオミクロン株の感染が拡大しつつある。国内でもコロナ感染症の第6波に備えた、町としての準備や対応は。

海外ではオミクロン株の感染が拡大しつつある。国内でもコロナ感染症の第6波に備えた、町としての準備や対応は。

**答** (副町長) 国や県の動向を注視し、まずはワクチンの追加接種体制を整える。

県の過疎地域発展の方針に対し町の事業計画の方向性は

**問** 令和3年の4月1日に施行された「過疎地域の持続的発展の支援に関する特別措置法」に基づき県は「福井県過疎地域持続的発展の方針の策定について」をまとめたが、町が考える、特定市町村に当たる名田庄地域の事業計画の方向性は。

本町は特定市町村とされ卒業団体として公示されている。今後の事業計画は、町の総合計画、未来創生戦略、中期振興計画において対応していく。

**問** 町では少子高齢化、人口減少は止まらない実状がある。今後4年間で正念場で、人材の確保・育成、産業の振興、交通体系、生活環境の整備など、包括的な持続的発展計画が必要と考えるが。

**答** (町長) 包括的なさまざまな分野の持続可能性を探りつつ、町全体としていかに持続的な発展性を考えていくかという部分は重要だと思っている。今存在する様々な可能性を模索して懸命に取り組んでまいりたい。

# シーシーパークのグラウンドオープンはいつ頃か

**町長** 夏頃のオープンをひとつの目処としている



いしち けんいち  
猿橋 啓一

**答** (つとむ創生室長) 物販3区画の応募は、町内から3名、町外から2名で決定者はすべて町内である。飲食2区画の応募は町内1名、町外2名。

**問** プ棟のオープンを向けて、現在の状況は。

**答** (町長) 建物は、ボルトや半導体の供給不足の影響を受け、完成が令和4年3月22日となった。入居者については、カフェ区画に福井市の事業者が決定し、チャレンジ区画やシェアオフィス区画への入居者は内定した。

**問** チャレンジ区画の応募者と決定者について、町内外の内訳は。

**答** (つとむ創生室長) アトリウムでのイベントの計画は。現在の状況は。

**問** シェアオフィス4区画の事業内容は。

**答** (つとむ創生室長) デジタルサポート、ウェブ開発、ファンド運営及びコンサルティング、IT開発で、IT企業の関連事業者である。

**問** IT企業の進出をどう捉えているか。

**答** (町長) ITを駆使したビジネスの展開で、新たな町の可能性を創出できると考えている。

**問** 商工会館テナント棟の内容とオープンに向けての状況は。



**問** テナントの出店状況は。

**答** (副町長) テナントスペースにはアウトドアストアのほか、3つのテナント区画と観光協会による観光案内所が配置され、事務所スペースには商工会、町の行政機能、(株)おおいが集結する。

**問** 現在、指定管理者で検討されている。イベントによりシーパークに来場者呼び込むことや、町内の各施設へ誘導できる仕組みづくりも考えていきたい。

**答** (つとむ創生室長) 現在、指定管理者建設工事と並行し、テナント出店希望者との調整や関係機関の移転に向けた協議を進めている。工事の進捗状況は、チャレンジシヨップ棟と同様にコロナ禍や資材不足等の影響で、工期を来年5月末まで延長する方向で調整している

**問** 商工会館テナント棟の工事完成が5



※複合商業施設の名前は「SEE SEA PARK」ですが、本広報では「シーシーパーク」と表記いたします。

**問** テナントで働く従業員は何名か。



**答** (町長) 町の新たな活性化に向けたグラウンドオープンについては慎重に検討を行う。人々の動きが活発になって、経済効果が見込める

**問** 月末となると、シーシーパークのグラウンドオープンはいつ頃になるのか。

**答** (町長) 町の新た



# コロナと共存した町事業の取り組みは

## 町長 感染リスクを下げることを大前提に、実施方法を工夫する



つづみ 満也

**問** これからの町事業についてウイズコロナで取り組むことは各種団体などの活動に好影響を与えることになるが、どのように取り組むのか。

**答** (町長) 予算編成においては、感染対策を十分行っており、事業実施を基本とし、実施方法を工夫する。

また、感染対策が行えないものは実施できないが、代替事業、規模縮小など、再開への意欲を失うことのないように取り組んでいく。

組んでいく。

**問** スーパー大火勢や、星のフィエスタなどは町として、今後どういった対応がなされているか。

**答** (商工観光課長) 新型コロナウイルスの状況や、感染リスクなどを踏まえ、今後も事業実施主体と協議のうえ、取り組みを応援する。

## 新型コロナウイルスの追加接種

**問** 新型コロナウイルス追加接種の現時点でのスケジュールは。

**答** (すこやか健康課長) 医療従事者や高齢者施設の入所者、従事者など5月に2回目の接種を受けられた方は1月か

ら、一般高齢者は2月から対象となる。意向調査を行い、3回目の接種を順次進めて行く。



**問** 3回目の接種について8か月の接種間隔の前倒しの準備体制は充分か。

**答** (すこやか健康課長) さまざまな条件を勘案しながら町民が安心してスムーズに接種を受けられるよう体制を整える。

**問** ワクチン接種証明による飲食店などの特典やサービスの取り組みは。

**答** (副町長) 取組の主体となる関係者の意見を伺いながら検討する。

## 文化施策

**問** 一滴文庫の駐車場の舗装と案内看板についての対応は。

**答** (社会教育課長) 一滴文庫の駐車場については、舗装と合わせて防火水槽の設置を検討している。案内看板は必要性、設置ポイントな

どを関係機関と協議していく。



一滴文庫駐車場

**問** 歴会館の案内看板の設置状況は。

**答** (社会教育課長) 現在設置工事を行っている。



歴会館看板設置予定箇所

**問** 町民の文化力を高めるための中長期

を見据えた事業、施設運営、人材活用育成にどう取り組むのか。

**答** (社会教育課長) 町内の小中学校の文化施設での活動、見学の推進や4公民館合同事業の「おおいを散歩」事業など実施している。

イベントやボランティアの参加により、施設や史跡などに触れることで興味や人的交流につながり人材活用、育成につながるかと考える。

**問** さらに文化力を高めるために「文化の町宣言」をすることで退路の無い文化施策を考へては。

**答** (教育長) 文化といてもその範囲は広い。町が宣言し、引っ張っていくと語り、町がさまざまな文化活動を後押しし、その結果町民の文化力が広がり、深まるものと考ええる。

# ごみの減量化が必須

## 町長 ごみを出さないライフスタイルの確立が重要



さるはし たくみ 猿橋 巧

ごみ出しが困難な人のために自宅前置き回収をしてはどうか。

**答** (副町長) 収集所は各区において設置、管理しており、新たに設置を希望する場合は、回収が可能かを検討していく。

**問** 建設中の広域ごみ処理施設では、各市町のごみ量に応じて負担金が決まる。ごみの減量化は必須であるが、対策は。

**答** (町長) 本町の可燃ごみの発生量は増加傾向にある。町民一人ひとりが環境意識を持ちながら、ごみを出さないライフスタイルを確立していくことが重要である。

**問** 収集所まで遠いところもあるが、収集所を増やすとともに、

**答** (副町長) 町から大島にある不燃物処分場は80%の埋立率であり、あと2年で

満杯になるのではないかと、令和5年までの公水面理立て免許を延長することで、あと数年の利用が可能である。

**答** (町長) 近年の持ち込み量を勘案すると、令和5年までの公水面理立て免許を延長することで、あと数年の利用が可能である。

### 選挙体制の充実

**問** 交通弱者の投票に移動期日前投票所を運行してはどうか。

**答** (選挙管理委員会書記長) 10月の衆議院議員総選挙において小浜市が導入した事例もあるため、状況や効果も参考に検討していく。

**問** 人口や世帯数が増加した地区への候補者掲示板の適正配置と増設を行うべきでは。

**答** (副町長) 町から大島にある不燃物処分場は80%の埋立率であり、あと2年で

**答** (選挙管理委員会書記長) 投票区再編等のタイミングで適正な設置場所を検討していく。

### 花木などの保育・管理

**問** 町花である桜のてんぐ栗病対策が急務であると考えるが、町の対応は。

**答** (商工観光課長) 年間を通じ、病巣の発見につとめ、病巣部の切除等対策に取り組む。

**問** セイタカアワダチソウの一斉駆除が必要では。

**答** (副町長) 対策の必要性は認識するが、私有地については地権者の協力が必要であるため周知していく。

### 入札契約の諸問題を問う

**問** 工事の積算において、急激な物価変

動に対応した価格や工期が設定されているのか。

**答** (会計契約課長) 標準積算基準書などにに基づき適正に積算している。

### 燃油高騰対策を緊急に

**問** 一次産業事業者への燃油購入助成の引き上げが必要では。

**答** (副町長) 平成27年度より認定農業者や漁業者に対し燃油10当たり10円を補助しており、大規模園芸施設内の温度調整に使用する灯油においても10当たり10円を補助することを12月補正予算に計上している。

**問** J・Vなど地元企業が参入できるようにすべきでは。

**答** (会計契約課長) おおい町建設工事の入札参加指名基準に基づき公平かつ公正な指名業者の選定を行っている。

**問** 工事を監督、指示を与える町職員のスキルアップ対策は万全か。

**答** (総務課長) 専門研修などの参加、また県から技術職員を派

遣してもらい、日常業務を通じ技術指導を受けている。

### 燃油高騰対策を緊急に

**問** 一次産業事業者への燃油購入助成の引き上げが必要では。

**答** (副町長) 平成27年度より認定農業者や漁業者に対し燃油10当たり10円を補助しており、大規模園芸施設内の温度調整に使用する灯油においても10当たり10円を補助することを12月補正予算に計上している。

**問** 福祉灯油補助が必ずでは。

**答** (副町長) 経済的影響が大きい住民税非課税世帯に対し1世帯当たり5,000円の灯油購入に対する助成を考えている。

# 追跡

## あれから どうなったの？

a follow-up survey

議会だよりでは、定例会での一般質問の要旨を掲載していますが、議員からの提案などが、その後、どのように町政に反映されたかを、追跡調査してみました。

特集

審議内容

活動報告

一般質問

追跡



### 大飯中学校周辺の 防犯灯整備を

大飯中学校下や岡田サンガーデンから大飯中学校へ続く川沿いの道は非常に暗く危険。

(平成31年3月議会 辻 徹 議員)

総務課長答弁

### 県との協議が必要

必要であることは理解するが、河川堤防のため拡幅や改良には県との協議が必要である。

どうなった？

### 防犯灯を設置

大飯中学校～岡田サンガーデン間9箇所に防犯灯を設置。



設置された防犯灯



### なぜ河川堤防の改良には県との協議が必要？

佐分利川や南川の管理は福井県のため、川や堤防の工事は県の許可がないと行えません。



### どういった協議が必要？

工事内容や工法、設計など図面を基に協議をすることになります。



### 制約はあるの？

堤防に関しては、強度にかかわるので構造が変わることは許されません。土手の掘削や、堤防の形が変わるような構造物を設置することはできません。



ちよつと深掘り！

# かがや 輝く

リターンズ

- 山本 泰さん
- 西畑 僚二さん
- 荒木 美帆さん
- 斉藤 智文さん
- 石塚 資之さん
- 荒木 敏彦さん

※表紙右側より

今回の「輝く人リターンズ」は、食に関するお仕事のお仕事の6名の皆さんにお集まりいただきました。第一次産業から第三次産業までさまざまな業種から貴重なお話が聞けました。懇談会終了後、本会議場や全員協議会室など議事堂内を見学していただきました。

懇談会の感想をご紹介します。

- ・意見が言えてよかった。
- ・普段交流のない方から、さまざまな話が聞けてよかった。
- ・よい経験になった。
- ・もっと意見交換の場があるというと思う。
- ・高齢者の働く場として農業が協力していきたい。

- ・違う業種の方との交流の場がもっとあるといいと思う。
- ・おい町はいいところ！

広報委員

議会だよりがあまり読まれていないことにショックが……。さまざまな人が興味をもってくる紙面づくりに広報委員一丸となつて頑張つてまいります。



議員図書館



議員全員協議会室

## 役場3階議事堂をご案内



議員控室



本会議場

おい町議会では、本会議をはじめ議員全員協議会や各委員会も公開しています。次回の定例会は3月です。傍聴については議会事務局(77-4060)までお問い合わせください。

**3月定例会の予定**

会期：2月22日から3月15日まで(22日間)  
 本会議：22日(議案提案理由説明)、9日(一般質問)、15日(採決)  
 委員会：総務・産業建設常任委員会(28日)、予算決算常任委員会(22、24、2、3、7日)、原子力発電対策・地域振興対策特別委員会(8日)

編集後記

新年あけましておめでとうございませう。

新型コロナウイルス感染症ですが、ワクチンや飲み薬の開発も徐々に進み、未知のウイルスとの戦いに打ち勝てる日が近づいています。今年がその年となれば良いと思っております。

さて、おい町議会では現在、議会改革に取り組んでおります。今回の議会だよりにも特集で掲載いたしました。改革の基本方針は町民の皆さまから信頼される議会の在り方です。まず、年間を通して会議ができ、委員会活動が活発化できるよう、通年議会を目指し、適正な議員定数や報酬の検討も進めてまいります。

最後になりましたが、皆様の今年一年が素晴らしい年となりますよう、心からお祈り申し上げます。

(細川記)

広報特別委員会

- 委員長 堤 満也
- 副委員長 原田 和美
- 委員 辻 和
- 委員 細川 正博
- 委員 田中 秀樹
- 委員 屋敷 浩道